吹田市立博物館 平成30年度夏季展示「水から考えよう!」

藤田和則・芝野薫・岡本就子・檜田清治・内田陽造・越智みや子・筏隆臣 (以上、夏季展示実行委員会) 池田直子(吹田市立博物館学芸員)

はじめに

吹田市立博物館では、毎年夏休みに、吹田の自然と環境をテーマとした展示に取り組んでいます。 展示やイベントを企画するのは、公募した市民による夏季展示実行委員会です。平成30年度は、水をキーワードに、くらしの水、水辺の生きもの、池や川と景観、災害と防災などについて取り上げました。

展示内容

展示は次のようなコーナーから成っています。

実物大水道管/吹田にいる虫/変身コーナー/池や川の景観のうつりかわり/水の音/水の三態/私たちが1日に使う水(上水道と下水道)/安全に暮らすために(防災・減災)/なにわの伝統野菜 スイタクワイ/[実験模型]千里丘陵の地下水と湧き水のしくみ/すいたまちなか水族館/自然はっけんシート/セミの抜け殻あつめ/顔出しパネル/水遊びおもちゃ/どんぐりオルゴール

展示の一部を紹介します。

展示室入口脇では、ヌートリアとアライグマ(標本)がお出迎え。吹田市域で、ヌートリアやアライグマが確認されていますが、どちらも特定外来生物に指定されています。また、入口には実物大上水道管を再現しました。水道管を通って特別展示室に入ります。

「私たちが1日に使う水」では、展示室壁面に、20のペットボトル480本、計9600分を展示しました。これは一日につかう水の量の4人分です。一日だけでもこんなにたくさんの水を使っています。水は私たちの命と暮らしに欠かせない大切なものですが、水の利用について、ふり返る機会にしてもらいたいと考えました。また、吹田市の上水処理、下水処理の方法や市内全域の上水道管網、下水道管網の展示をしました。さらに、和式トイレから洋式トイレが一般的になったことで水の使用量が増加したことも紹介しました。

「水の三態」では、水分子の模型で水の三態について紹介しました。物質には固体・液体・気体の三態がありますが、水(液体)も、氷(固体)、湯気・水蒸気(気体)と、温度によって姿を変えます。氷も水も水蒸気も同じ水分子でできていて、自然条件により姿を変えるのです。



実物大 上水道管



水分子模型



「私たちが1日に使う水」をペットボトルで展示



池や川の景観のうつりかわり



神崎川と安威川の合流地点 (撮影:内田陽造)



魚標本 (兵庫県立人と自然の博物館蔵) 水鳥標本 (高槻市立自然博物館蔵)

「池や川の景観のうつりかわり」では、吹田市立博物館が所蔵する絵図や池や川に関連した古い写真と、最近の写真を対比してみました。 あわせて吹田でみられる水鳥や魚などの標本を展示しました。 さらに、地区ごとの詳細な冊子を作成し、手にとって見られるようにしました。

「安全に暮らすために!」では、吹田市防災ハンドブックより、防災についての情報や、段ボールベッド・簡易トイレ・非常食など防災グッズを展示しました。去年 6 月の北大阪地震で、吹田市は大きな被害をうけ、市民の関心が高いように感じました。

「[実験模型] 千里丘陵の地下水とわき水の仕組み」では、千里丘陵の地層模型を展示しました(提供: 兵庫県立人と自然の博物館 加藤茂弘先生)。千里丘陵は、砂礫と泥が交互に積み重なった地層からなっています。砂礫は水を通しやすく、泥は通しにくい地層です。このため丘陵地に降った雨水は、砂礫中へと浸み込み、地下水となってゆっくりと流れていき、きれいなわき水となって出てきます。

「吹田の昆虫」では、吹田で見られる昆虫の標本を展示しました。吹田には吹博周辺の紫金山公園や千里緑地などがあり、カブトムシやクワガタ、トンボなどが生育しています。

「なにわの伝統野菜 スイタクワイ」では、水の豊かなところで育つスイタクワイを紹介しました。スイタクワイは、普通のクワイより小粒ですが味よく、江戸時代より吹田の名産として知られていました。千里丘陵からしみ出てくるわき水があり、スイタクワイの生育にとてもよい条件がそろっているため、今もスイタクワイが栽培されています。

おわりに

「水から考えよう!」は「自ら考えよう」にも引っかけています。一人一人が、水の不思議や日常の水利用、水害など考える機会になればと企画しました。平成30年は、台風による被害や岡山の水害などがあり、水の脅威を感じた年でした。生命を育む水、水の大切さ、水害の怖さ、水の様々な面を紹介できたと思います。

最後になりましたが、展示・イベントにご協力いただいた関係機関、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

平成31年度も7月20日(土) ~ 8 月25日(日)の予定で、夏季展示を開催します。楽しい展示、イベントを企画しています。ぜひご来館ください。



千里丘陵の地層模型 (提供:加藤茂弘先生)



吹田の昆虫 (塩田敏治氏蔵)



スイタクワイ